

＜JUG JFD3 組立説明書＞

この度はJUG JFD3のご購入ありがとうございます。本書の説明に沿って組立を行ない、演奏練習をお楽しみください。



使用上の注意

- ・本製品を演奏目的以外で使用したり、人に向かって投げたり、振り回したりしないで下さい。
- ・本製品には細かな部分や尖った部分、また可動部分などがありますので組立は大人の方が行なってください。
- ・本製品には可動部分が多く有りますので、手をはさんだりしないようご注意ください。
- ・本製品の先端部分や、部品付属品には尖っている箇所があります。手や指などを刺したりしないようご注意ください。
- ・古くなった金属部品などは早めに交換して下さい。錆びた金属部品で手や指を傷つける場合があります。
- ・取り外した部品は小さなお子様の手が届かない場所に保管し、誤って飲み込んだりすることのないようご注意ください。
- ・小さなお子様のご使用になる場合は、必ず大人の方が付き添って下さい。
- ・本製品は濡れた手で触らないでください。木材や金属の劣化につながる恐れがあります。

島村楽器株式会社 商品開発課

*本製品の仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

●商品の内容を確認してください。

1. JUG JFD3(大きい箱)に入っているもの

①バスドラム(以下BD)



②フロアタム(以下FT)



③左:ハイタム(以下HT) 右:ロータム(以下LT)



④スネアドラム(以下SD)



⑤ BD用フープ(2本)



*BDと同色です

⑥ FT用フープ(2本)



*黒色です

⑦BD用ヘッド(2枚)

*1枚はJUGの印字入り



⑧FT用ヘッド(2枚)



⑨シンバル(ハイハット×2枚、クラッシュ)

*小-ハイハット 大-クラッシュ



⑩フロアカーペット



⑪イス用座シート



⑫FT用テンションボルト(10本)

*短い



⑬BD用テンションボルト(12本)

*長い



⑭クローフック(12本)



⑮チューニングキー



⑯ストッパー スポンジ



⑰BD用ミュート



2.JUG JFD3-2(小さい箱)に入っているもの

①SDスタンド



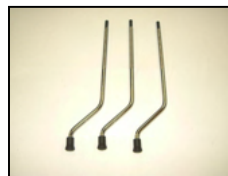
②ハイハットスタンド



③シンバルスタンド



④FT用スタンド(3本)



⑤BDペダル



⑥BD用スタンド(2本)



⑦イス用スタンド



⑧タムホルダー(2本)



⑨スティック(キッズ用)



●各商品を組立てます。

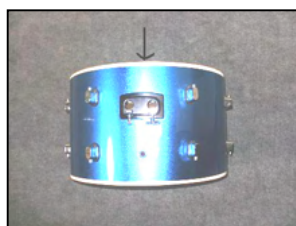
BD(バスドラム)

①BDとBD用ヘッド(2枚)、BD用フープ(2本)、BD用テンションボルト/クローフック(各12本)、BD用スタンド(2本)、チューニングキーを用意します。

注意:ドラムの各部の組立て/調整の際は全てチューニングキーを使用します。

②BDにヘッドを装着します。

・ヘッドを装着する面は2箇所(上下もしくは表裏)あり、装着するヘッドが異なります。



まずは写真の矢印(▼)の面に「JUG」と印字されたヘッドを装着します。写真を見て装着する面を間違わないようにしてください。

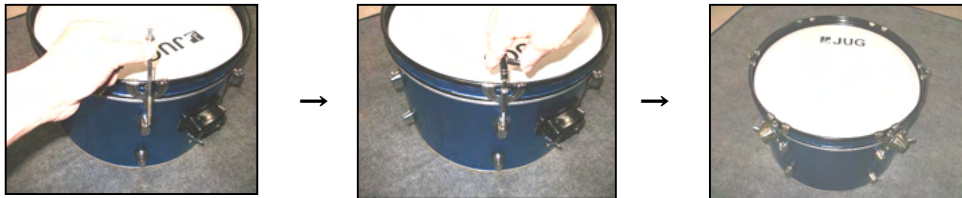
・「JUG」と印字されたBD用ヘッドをBDの上に置き、その上にBD用フープを置きます。

・フープの穴とBDの金具(ラグ)の穴を合わせ、そこにクローフックを置きます。

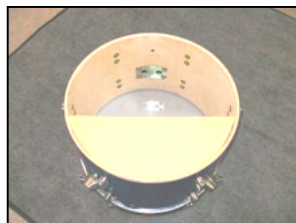
・それらの穴にテンションボルトを通しチューニングキーで時計回りに締めていきます。この時一箇所のテンションボルトを締めるのではなく、まずは全箇所ですゆるめにテンションボルトを締め、その後対角線状に70~80%程度の締め具合にし、ヘッドの張り具合を調整します。

・全てのラグ穴にクローフック/テンションボルトを取付けたらこの面のヘッド装着は終了です。取付け箇所は6箇所です。





- ・反対の面にも上記と同じ要領で、ヘッド(印字のないもの)、フープの順に置き、クローフック、テンションボルトを取付けます。この際こちらの面にBD用ミュートを取付ける場合は、ヘッドを取付ける前にミュートの両面



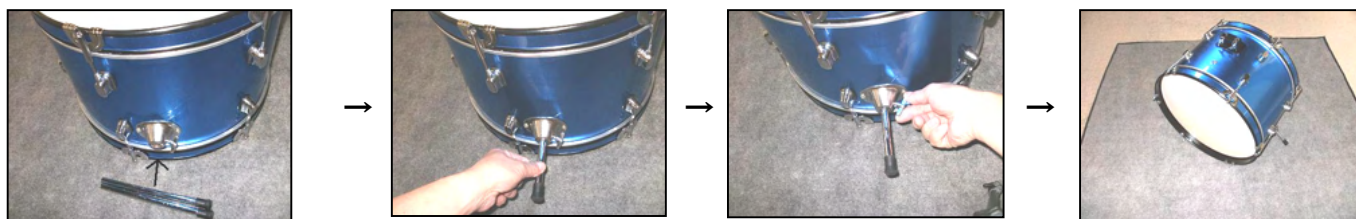
テープを剥がしBD内部に装着します。写真を参考にしてください。

*BD用ミュートは締まった打音にするためのものです。

お好みに応じてご使用下さい。

③BD用スタンドを取付けます。

- ・矢印の場所(2ヶ所)にスタンドを通します。 適度な長さにしてネジを締め固定します。
- ・2ヶ所取付けたら写真のように床に置き、左右にガタつかないようにスタンドの長さを調整してバランスを確認してください。



FT(フロアタム)

- ①FTとFT用ヘッド(2枚)、FT用フープ(2本)、テンションボルト(10本)、FT用スタンド(3本)、チューニングキーを用意します。

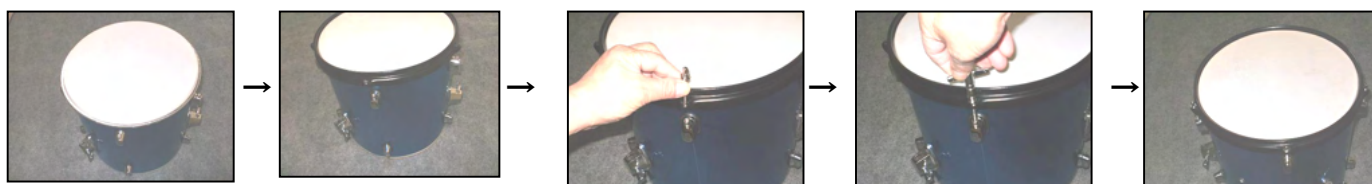
- ②FTにヘッドを装着します。

- ・BDの組立と同じ要領です。FTにヘッド、フープを順番に乗せます。

(FTの2枚のヘッドは同じもので、装着する面の指定はありません)

- ・フープとラグの穴を合わせ、そこにテンションボルトを入れてチューニングキーで締めていきます。この時一箇所のテンションボルトを締切るのではなく、まずは全箇所ですゆるめにテンションボルトを締め、その後対角線状に70~80%程度の締め具合にし、ヘッドの張り具合を調整します。

- ・全てのラグ穴にテンションボルトを装着したら終了です。取付け箇所は5箇所です。

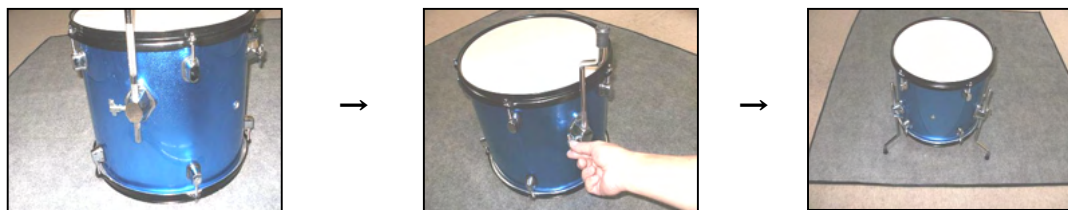


- ・反対の面にも同じ要領で、ヘッド、フープを乗せテンションボルトを装着します。

- ・FT用スタンドを取付けて組立て完成。写真のようにスタンドをFTのブラケット(金属部)に通し、スタンドを適度

な長さに調節しネジを締め固定します。床に置き3本のスタンドの長さを再度調節してください。

*スタンドは脚先(黒いゴム)を外側に開くように、写真を参考にして取付けて下さい。



LT(ロータム) HT(ハイタム)

LT、HTはヘッド、フープ、テンションボルトが装着された完成品の状態です。

LT、HTはBDに取り付け使用します。BDとLT、HT、タムホルダー、チューニングキーを用意します。

①まずBDにタムホルダーを取付けます。

・BDを床に固定した状態で、タムホルダーを取付けます。2本のタムホルダーは右用と左用に分かります。

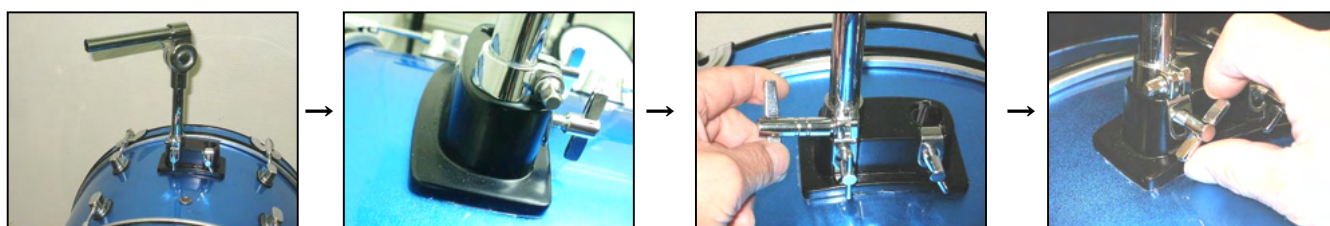
左右のタムホルダーをそれぞれBDのタムホルダーベース(黒い2つ穴の金属パーツ部)に挿入します。

・次にタムホルダーの高さ(LT、HTの取付け位置)を調整します。



*タムホルダーにはメモリーロック(写真参照)というパーツが装着されています。このパーツは他のスタンド類にも装着されています。設定する高さの目印になるとともに、メモリーロックのネジを締めることで、固定度合いの強度が増す効果もあります。(チューニングキーで締めます)

・タムホルダーの高さを決めたらメモリーロックをタムホルダーベースの穴にしっかりと合わせ、締めて固定します。穴にしっかりと入ってなかったり、ネジの締め具合が弱いとタムホルダーが下がってきますので、確認してください。その状態でタムホルダーベースのネジを締めタムホルダーを固定します。

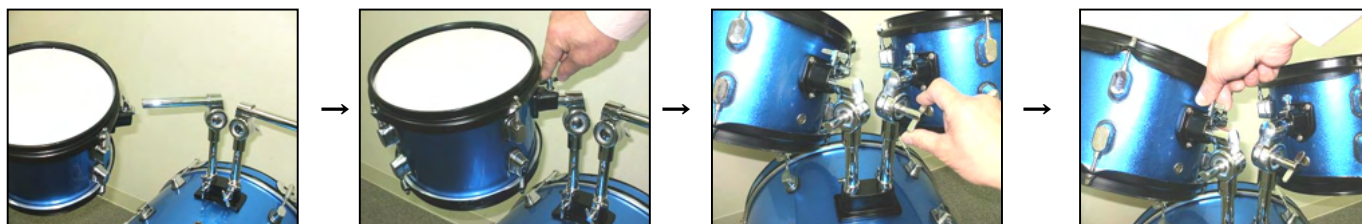


②タムホルダーにLT、HTを取り付けます。

・タムホルダーを固定したら、次にLT、HTをタムホルダーに取り付けます。

向かって左側にHT、右側にLTを取付けます。LT、HTのブラケット(黒い金属パーツ部)にタムホルダーを挿入し、ブラケットのネジを締め固定します。

・LT、HTの角度はタムホルダーのネジやブラケットのネジをゆるめることで調整できます。





- ・左記がBDにLT、HTを取付けた状態です。
- ・LT、HTの高さ、角度は演奏される方の身体の大きさに合わせて調整します。メモリーロックやタムホルダーのネジ、ブラケットのネジなど、各部を色々と調整してみましょう。何度も行なうことで調整のコツがつかめてきます。

SD(スネアドラム)



SDはヘッド、フープ、テンションボルトなどが装着された完成品の状態です。

SDはSDスタンドにのせて使用します。

SD、SDスタンド、チューニングキーを用意します。

SDスタンドは写真のように分解された状態です。

①SDスタンドをセッティングします。

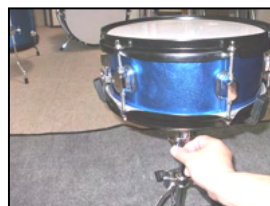
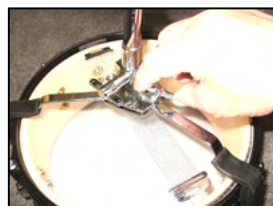
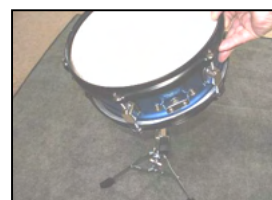
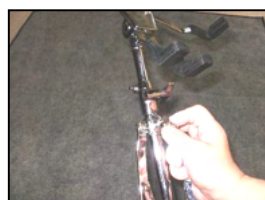
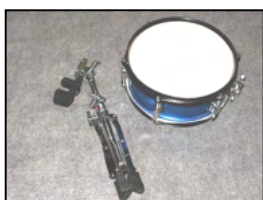
- ・三脚部のネジをゆるめ、脚を適度な広さに開き床に固定します。

②スタンドにSDをのせます。

- ・SDをのせる3本のアームをSDに合わせて開き、ネジで固定します。

- ・SDの高さはSDスタンドのネジをゆるめ調節します。

*このスタンドにもメモリーロックが付いています。必要に応じて活用してください。



ハイハットスタンド



ハイハットスタンドをセッティングし、ハイハットシンバルを取付けます。

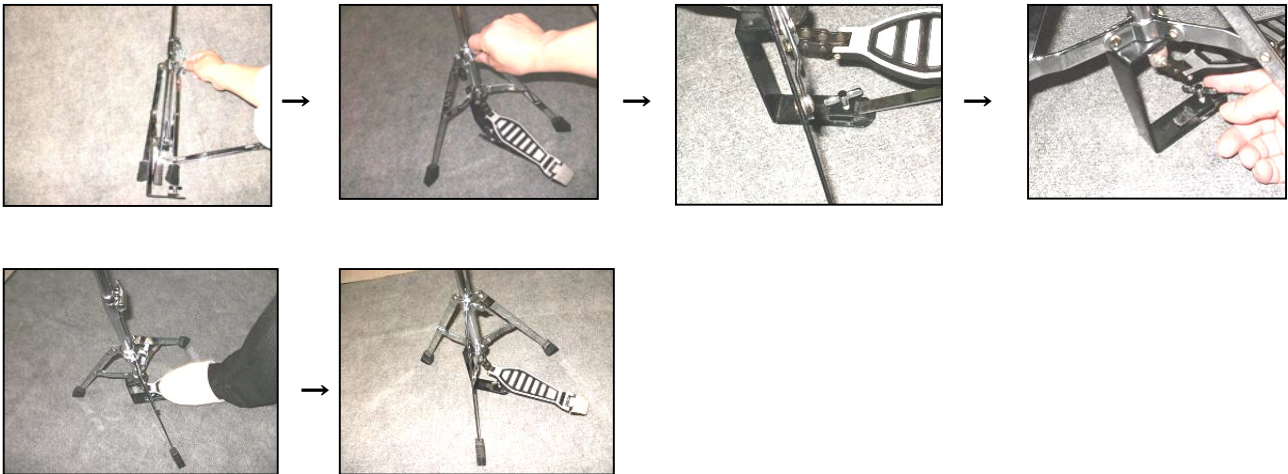
ハイハットスタンド、ハイハットシンバル(2枚)、チューニングキーを用意します。

ハイハットスタンドは写真のようにパーツが分解された状態です。

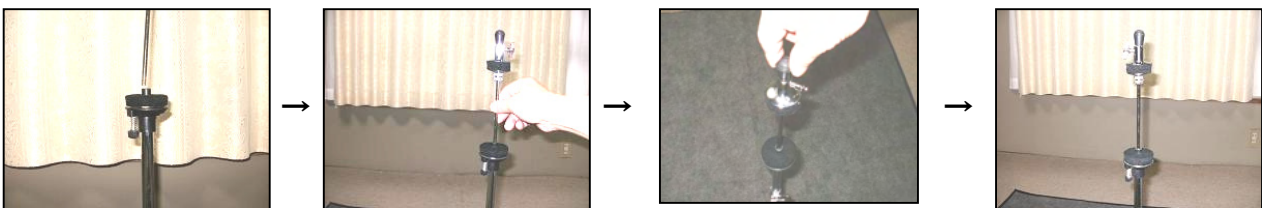
*ハイハットスタンドは特に機構が複雑です。十分に注意して組立ててください。

①ハイハットスタンドをセッティングします。

- ・ハイハットスタンドの三脚部のネジをゆるめ、三脚部を適度な広さに開き床に固定します。
- ・スタンド下部のペダル(足型になっている部分)の、細長い銀色の金属プレートの先端をネジ下の隙間に挿入し、ネジで固定します。ペダルを踏んでスタンドのぐらつきがないように開き具合を調整してください。



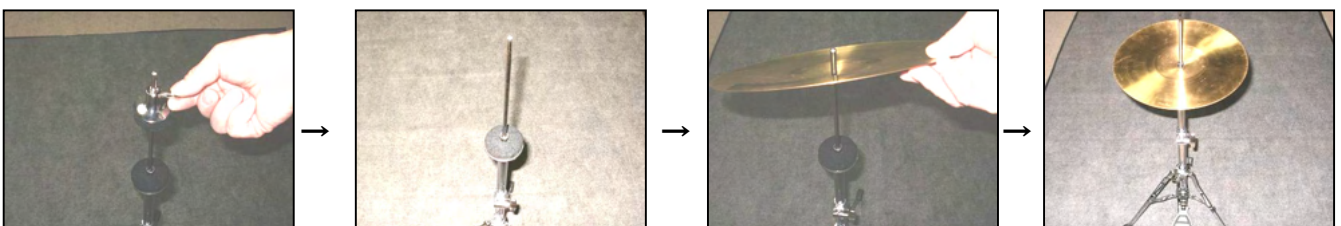
- ・三脚部の先端のパイプの穴に、別のパイプパーツを挿入し、その中の棒状パーツを時計回りに回します。(棒状パーツの先端がネジになっており、パイプの中で締まる構造です)
- ・ネジを時計回りに回し、棒状パーツを固定させます。



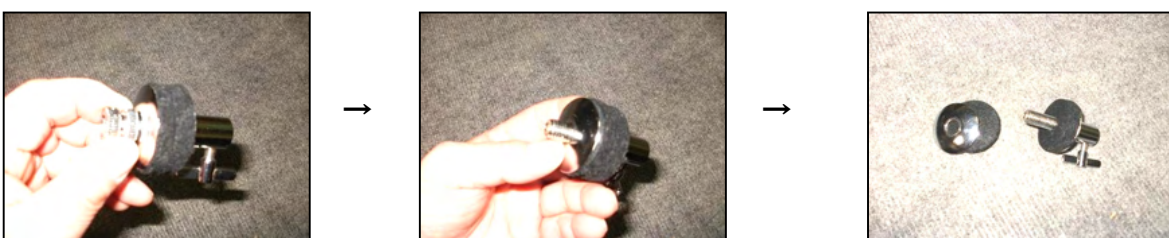
*時計回りに締めます

②ハイハットシンバルを取付けます。

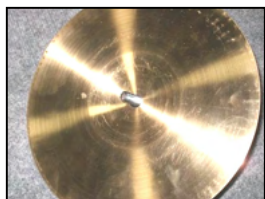
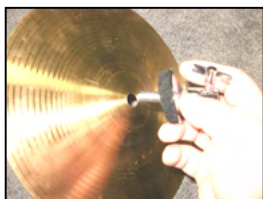
- ・最初に棒状パーツ先端の黒いゴムキャップを外し、続いてその下のパーツ(ハイハットクラッチと呼びます)のネジをゆるめ、取り外します。その状態のスタンドにハイハットシンバルを1枚、写真の向きで置きます。



- ・外したハイハットクラッチから、写真を参照にナットを2コ外し写真のように2つに分解します。

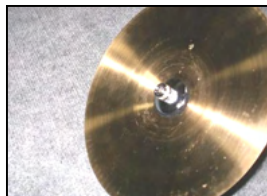
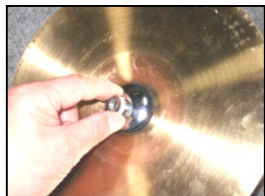
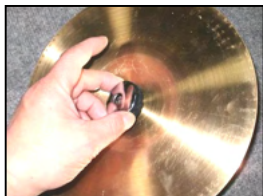


*右側の写真: 左が黒フェルトと円形プレート、右がネジと黒フェルト



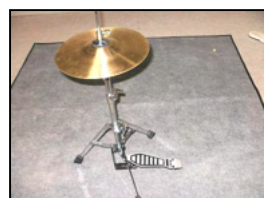
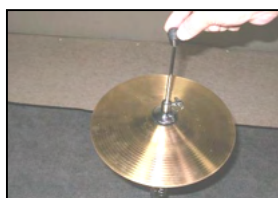
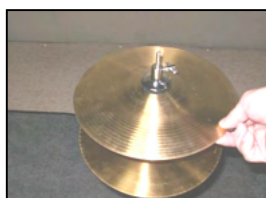
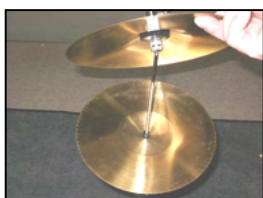
・もう1枚のハイハットシンバルの上から、分解したハイハットクラッチのネジ部分(黒フェルト含む)を真ん中の穴に挿入します。

・シンバルの裏側のネジ部分に、もう1枚の黒フェルト、円形プレートを入れ、最後にナットを取付け、ナットを締め固定します。



・ハイハットクラッチを取付けたシンバルを、スタンドの棒状パーツに通し、先端にゴムキャップを取付け完成です。ペダルを踏んで2枚のシンバルの開き具合を調整したうえでハイハットクラッチのネジを締め固定します。

*このスタンドにはメモリーロックが付いています。必要に応じて活用してください。



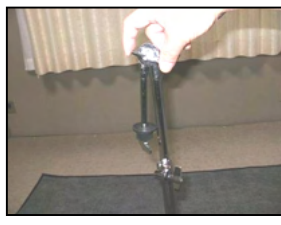
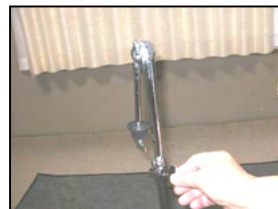
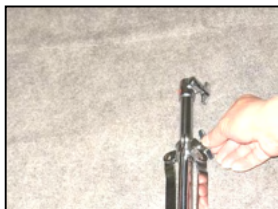
シンバルスタンド



シンバルスタンドをセッティングし、クラッシュシンバルを取付けます。
シンバルスタンド、クラッシュシンバル、チューニングキーを用意します。
*シンバルスタンドは写真のように2つに分かれて入っています。

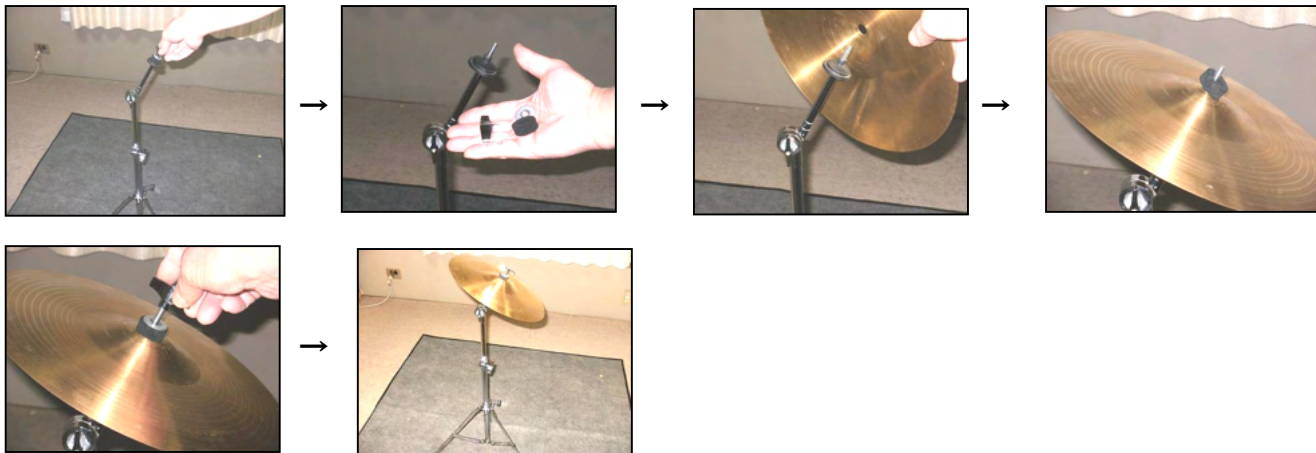
①スタンドをセッティングします。

- ・三脚部のネジをゆるめ、適度な広さで床に置き固定します。
- ・三脚部の先端のパイプの穴に、もう一方のパーツのパイプ部分を挿入します。
- ・適度な高さでネジを締め固定して下さい。先端部の角度は写真のような角度にしておいてください。



②クラッシュシンバルを取付けます。

- ・スタンド先端のパーツ(ネジ、ワッシャー、フェルト)を外します。その状態で、シンバルを取付けます。
 - ・先端のネジ部に、フェルト、ワッシャーを取付け、最後にネジで固定して完成です。(ネジは締切らず、80%程度の締め具合にしておくとい良いでしょう)
- *メモリーロックは必要に応じて活用してください。



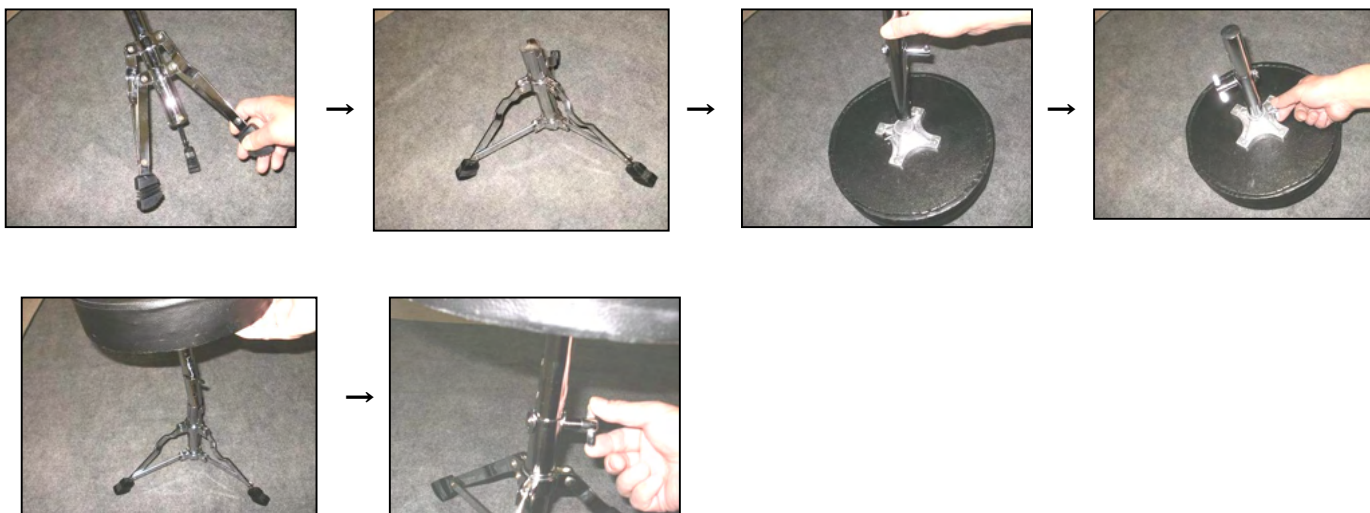
ドラムイス



イス用スタンド、イス座シートをご用意ください。
スタンドは三脚部とパイプ部に分かります。

①スタンドをセッティングします。

- ・まず三脚部の脚を適度な広さに開き、床に固定します。
- ・次に座シートの裏側の金具にパイプ部を挿入し、ネジを締め固定します。
- ・パイプ部のもう一方の先端を三脚部に挿入し、ネジを締め固定します。
パイプ部のネジ穴の位置を変えることで高さの調節ができます。



BDペダル



BDペダルを組立て、BDに取付けます。

BDペダル、BD、チューニングキーを用意してください。

*BDペダルは、写真のようにBDを叩く部分(ビーターと呼びます)とペダル部に分かれて入っています。

①ペダルを組立てます。

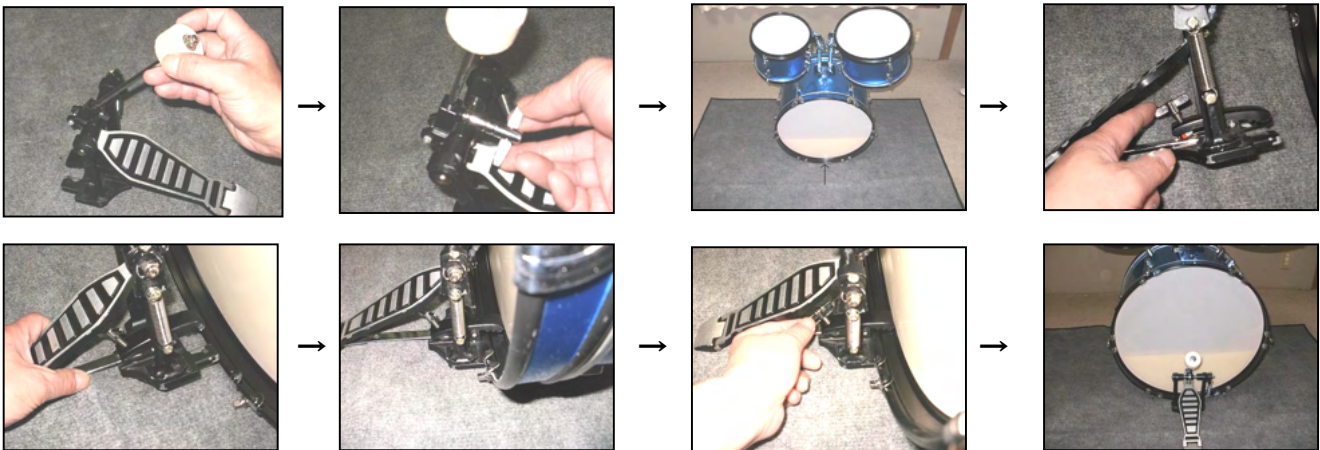
・ビーターのシャフトをペダルに取付け、チューニングキーで締め固定します。

ビーターのシャフトは、深く入れすぎて先がチェーンにあたらないよう、穴から少し出る位にしてください。

②BDペダルをBDに取付けます。

・BDを用意し、BDの手前下のフープに取付けます。写真を参照し、ペダルのネジをゆるめフープにかみ合わせた後ネジを締めペダルを固定します。

・ペダルを踏んで、ビーターがBDのヘッドに当たることを確認してください。



全体のセッティング



・写真を参考にして位置を決めてください。

付属のカーペットを活用して下さい。

・使われる方の体の大きさに合わせ、各タイコ類、スタンドの位置を調整します。

*具体的な練習方法、チューニングの仕方などは入門用教則本(別売り)を参照下さい。

「ストップスポンジ」の活用方法

セッティングした場所の目印やスタンド類の固定時に使用します。各スタンドの脚先でカーペットに貼付けてお使いください。

*組立てのご不明な点は、お買上げの店舗もしくは商品開発課までお気軽にお問合せください。

● 本製品の内容及び基本仕様

名称	規格、サイズ、数量など
バスドラム(BD)	16"×12"
フロアタム(FT)	12"×12"
タムタム(LT)	10"×6"
タムタム(HT)	8"×6"
スネアドラム(SD)	10"×4"
バスドラムペダル	
ハイハットスタンド	
スネアスタンド	高さ調整:約 40~53cm
シンバルスタンド(ストレート)	
ドラムイス	高さ調整:約 35cm~46cm
タムホルダー	2本
ハイハットシンバル	10"×2枚
クラッシュシンバル	12"
スティック	キッズ用 1ペア
バスドラム用ミュート	
チューニングキー	
ストッパー スポンジ	3コ
カーペット	
組立説明書	

*交換用ヘッドには、同サイズの市販商品が使用できます。

*本製品の金属パーツ部には、さび防止用オイルを塗っております。万一温度の上昇などでべたつきが目立つ場合には布、ティッシュなどでお拭き取りください。

*ドラムの各パーツは消耗品です。消耗した際にはお買上げの店舗で交換品をお買求めください。

*ドラムレッスンの方法などについては、ドラム入門書(別売り)を参照ください。

● 推奨関連商品

別売りで以下の商品もご用意しております。詳細につきましては最寄の島村楽器店舗へお問合せください。

*親子で楽しむキッズドラム入門 SDV1003 ¥2,625(込み) キッズを対象にしたドラム教則 DVD

*親子で楽しむキッズエレクトリックギター SDV1001 ¥2,625(込み) キッズを対象にしたエレキ教則 DVD

*親子で楽しむキッズエレクトリックベース SDV1002 ¥2,625(込み) キッズを対象にしたベース教則 DVD

*DVD 付きドラム教則本 ドラム入門 ¥1,890(込み) わかり易いドラム入門教則本

*JFD シリーズ専用 消音パッドセット JUG J-PAD ¥4,800(込み) ご自宅で音量を小さくしてレッスン